

授業科目名	基礎看護学実習 I	担当教員	教授 福間美紀 他		
開講年次及び学期	1年後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	45	単位数	1
<b>授業の目的（概要）</b>					
<p>看護学原論で学んだ知識を踏まえ、療養生活を送る人との対話及び看護活動の観察を通して、自己や対象者の理解を深める。また、看護の場面を見学し対象者との関わりを通して、援助関係のあり方及び看護の役割について考え、今後の学習活動の動機づけの機会とする。</p> <p>島根大学医学部附属病院にて臨地実習を行う。実習期間は1週間とする。実習期間中は、実習記録やカンファレンスおよび教員との意見交換を活用し、自らの思考・感情・行動を言語化し、自己理解や他者理解を進める。また、全体討議での意見交換は、学生間の学びの共有だけでなく、視点の広がりや学びをを深める機会として活用する。</p>					
<b>学修成果（到達目標）</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門職としての基本的態度および臨地実習における学習方法を身につける。</li> <li>2. 看護の基盤となる対象者との援助的関係形成のための力を培うことができる。</li> <li>3. 療養の場にいる対象者の身体的・精神的・社会的状況について理解し、看護のあり方について考えることができる。</li> <li>4. 療養の場における看護の役割について考えることができる。</li> </ol>					
<b>キーワード</b>					
看護、人間、健康、環境、生活、看護実践、援助関係					
<b>授業の進め方</b>					
臨地実習、グループでディスカッション、全体討議、リフレクション					
<b>成績評価の方法（合否基準）</b>					
課題レポートの評価、実習内容、実習記録の評価、最終レポート、個人面接の振り返りの総得点を100点満点に換算したうち60点以上を合格とする。					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
<p>教科書：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初日、別冊「臨地実習の手引き 基礎看護学実習1」を配布する。</li> <li>・各自、「看護学原論」「援助関係論」のテキストと配布資料、活用すること。</li> </ul>					
<b>オフィスアワー</b>					
<p>福間美紀（基礎看護学講座）  質問等は随時受け付けますのでメールにてアポイントをとること  Email: mk8592@med.shimane-u.ac.jp</p>					

## モデル・コア・カリキュラムとの関連

A 看護系人材(看護職)として求められる基本的な資質・能力

学士課程における看護系人材としての資質・能力を獲得するための学修内容とその到達レベルを定める。

A-1 プロフェッショナリズム

あらゆる発達段階、健康レベル、生活の場にある人々の健康で幸福な生活の実現に貢献することを使命とし、人々の尊厳を擁護する看護を实践し、その基盤となる看護学の発展や必要な役割の創造に寄与することを学ぶ。

A-1-1) 看護職としての使命、役割と責務

ねらい:

人々の健康で幸福な生活の実現に貢献するという看護職としての使命、役割の発揮・創造に向けて、基盤となる知識を修得し、自分の責任と能力を認識した上で、その範囲内で責務を果たすことを学ぶ。

学修目標:

- 1 人々の健康で幸福な生活とは、人々のもつ価値観や社会的背景を踏まえて多様であることを理解し、尊重できる。
- 2 看護職に求められる様々な役割を説明できる。
- 3 看護職の法的義務を説明できる。

A-1-2) 看護の基盤となる基本的人権の理解と擁護

ねらい:

看護の基盤となる人々の基本的人権を理解し擁護する必要性を学ぶ。

学修目標:

- 1 人々の基本的人権について説明できる。
- 2 看護において人々の基本的人権が擁護される状況が理解できる。
- 3 看護において人々の基本的人権を擁護するための手段・方法が理解できる(インフォームドコンセント、インフォームドアセント)の意義と必要性、守秘義務、個人情報保護の方法等)。
- 4 ケアは相互作用であることを踏まえ、ケア提供者の人権も守る必要があることと状況が理解できる。
- 5 自分の責任と能力の範囲内で実践する看護の根拠として、基本的人権が説明できる。

A-1-3) 看護倫理

ねらい:

看護実践における倫理の重要性、倫理に関する理論や倫理原則、思考方法を学ぶ。

学修目標:

- 1 生命、人の尊厳を尊重することができる。
- 2 看護を取り巻く倫理的課題とその背景や歴史を理解できる。
- 3 倫理的課題を解決するための理論や倫理原則、思考方法を理解できる。

A-2 看護学の知識と看護実践

多様な人々の看護に必要なかつ十分な知識を身に付け、個人・家族・集団・地域について幅広く理解し、アセスメント結果に基づく根拠ある看護を実践することを学ぶ。

A-2-1) 学修の在り方

ねらい:

看護だけでなく、様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合整理し、根拠ある看護実践に結び付けることを学ぶ。

学修目標:

- 1 看護実践の根拠として、様々な情報を客観的・批判的に整理する必要性を理解できる。
- 2 看護実践から看護学の知識を考察し表現できる。
- 3 適切な助言等を通して主体的に学ぶ姿勢を獲得できる。

A-2-2) 看護実践能力

ねらい:

統合された知識、技術、態度に基づき、根拠に基づいた全人的な看護実践を学ぶ。

学修目標:

- 1 看護実践を行う上で、知識、技術、態度を統合する必要性を理解できる。
- 2 自分の責任と能力の範囲を自覚し、正確な知識、確かな技術、適切な態度を統合した看護を実践できる。

A-3 根拠に基づいた課題対応能力

未知の課題に対して、自ら幅広く多様な情報を収集し、創造性の発揮と倫理的・道徳的な判断及び科学的根拠の選択によって課題解決に向けた対応につなげる基盤を身に付ける。

A-3-1) 課題対応能力

ねらい:

自らの力で課題を発見し、解決に向けた対応を学ぶ。

学修目標:

- 1 必要な課題を自ら発見できる。

## 準備学修に必要な学修の時間

各講義の中で指示します。

授業計画

回	日程	時間	場所	テーマ	授業内容	担当者
1	11/10	13:00～ 14:20	N11	身だしなみ、 ユニフォームについて、感染予防		実習員会 福間・坂根
2	日程 調整中			個人情報保護に関する研修		医療情報学 講座
3	12/1	13:00～ 16:35	N11	オリエンテーション	臨地実習全体のオリエンテーション (実習の意義、目的、4年間の展開、手続き)	実習委員会
4					基礎看護学実習 I のオリエンテーション	福間
5・6	12/8	13:00～ 16:35	N11	オリエンテーション	基礎看護学実習 1 における危険予測トレーニング	福間
7～10	12/20	9:00- 16:30		実習	医学部附属病院のオリエンテーション ・オリエンテーション 13:30～ 附属病院でのシャドイング実習 15:00～ カンファレンス	福間
11～14	12/21	9:00- 16:30			午前：受け持ち患者実習前オリエンテーション 午後：受け持ち患者実習 15:00～ カンファレンス	福間
15～18	12/22	9:00- 16:30			9:30～ 受け持ち患者実習 15:00～ カンファレンス	福間
19・20 21・～ 23	12/23				午前；カンファレンス 午後：発表準備、発表会 面談	福間

備考

- ・基礎看護学実習 1 は島根大学医学部附属病院にて行うため、実習前10日間の出雲市内（島根県内の実家）での健康観察，行動観察が必要となります。
- ・また，実習前の抗原定量検査を受けて陰性だったもののみが病棟での実習となります。
- ・陽性者の実習については相談の上実施します。